

VIEWWS

おおさかのしょうぼう

35m先端屈折はしご付消防自動車 運用開始！

大東四條畷消防本部

平成29年2月7日から新型『はしご車』の運用を開始しました。

新しい車両は最大地上高35mのはしご車で、はしご先端部分が屈折する機能を有しており、高層ビルの屋上やフェンス等の障害物を避けて接近することができ、これまで以上にスムーズな救助活動を行うことができる仕様となっています。

また、バスケットは最大4人乗りに対応し、上下に開閉するガルウイング型扉を採用したことで、従来の前開き扉より、目標地点への接近性が向上しました。

その他主な装備は、先端のバスケットと昇降機が同時に使える機能や伸縮水路管などの装備をはじめ、はしごの揺れを感知し制御を行う制振制御装置など、さまざまな最新技術が搭載されています。

大東四條畷消防本部では市民の皆様のため、新しいはしご車の性能を最大限に活かし、平成27年度に導入した高所作業車とともに、中高層建物等の各種災害に対して、迅速に対応できるよう努めています。



島本町消防本部

島本町消防本部・消防団の連携について

島本町消防本部では、年間を通して消防団と連携を図りながら、様々な取り組みを行っています。島本町消防団は、団員定数138名の9分団から構成されており、日々の訓練では、階級役職に応じた幹部教養訓練、小型動力ポンプ操作訓練並びに資機材取扱訓練等を消防職員員の指導のもと、普段から顔が見える関係を大切にしながら行っております。

町主催のイベントでは、積極的に会場の巡回や警戒、また住民の方々には、熱意を持って消火器の取扱い訓練などを指導してもらい地域に根差した取り組みを行っております。さらには毎年10月に実施しております分団対抗のポンプ操法大会では、団員同士の連携や消火技術を高めるとともに、2月には普通救命講習を開催し、消防団員としての資質の向上に努めていただいております。

今後も、消防団と消防本部は連携活動を強化し、さらに安全で災害に強いまちづくりを目指していきます。

